

## 平成28年3月期 決算補足資料

I. 決算概要	・・・	P 1
II. 連結情報		
1. 連結貸借対照表の推移	・・・	P 2
2. 連結損益計算書の推移	・・・	P 4
3. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	・・・	P 6
4. 配当の推移	・・・	P 6
III. キッセイ薬品単体情報		
1. 損益計算書の推移	・・・	P 7
2. 主要医薬品の売上推移	・・・	P 8
3. 新薬開発状況（自社）	・・・	P 9
4. 新薬開発状況（導出）	・・・	P 9

# I. 決算概要

## 【連結】

(百万円)

項目	決算期 '14 (H26) 年 3 月期	'15 (H27) 年 3 月期	'16 (H28) 年 3 月期	前期比	'17 (H29) 年 3 月期予想	前期比	うち上期
売上高	70,399	70,110	71,294	1.7%	71,000	△0.4%	35,000
営業利益 (売上高比%)	12,301 (17.5)	8,334 (11.9)	10,274 (14.4)	23.3%	8,600 (12.1)	△16.3%	3,600 (10.3)
経常利益 (売上高比%)	13,541 (19.2)	10,584 (15.1)	11,353 (15.9)	7.3%	9,600 (13.5)	△15.4%	4,100 (11.7)
特別損益	△140	△118	△216	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比%)	9,093 (12.9)	7,165 (10.2)	8,165 (11.5)	14.0%	7,000 (9.9)	△14.3%	3,000 (8.6)

販売費及び一般管理費	34,917	37,710	37,439	△0.7%	37,400	△0.1%	19,200
研究開発費 (売上高比%)	11,298 (16.0)	14,488 (20.7)	14,106 (19.8)	△2.6%	12,300 (17.3)	△12.8%	6,300 (18.0)
減価償却費	2,190	2,203	2,343	6.4%	2,420	3.3%	1,180
設備投資額	2,382	1,825	1,942	6.4%	1,270	△34.6%	510
輸出高	7,756	7,256	7,231	△0.3%	6,190	△14.4%	2,950
期末従業員数(人)	1,883	1,883	1,908	25	—	—	—

## 【キッセイ薬品単体】

売上高	61,090	59,694	61,821	3.6%	61,000	△1.3%	30,200
医薬品	47,868	48,084	49,601	3.2%	50,510	1.8%	24,790
ヘルスケア食品	3,861	3,665	3,734	1.9%	3,840	2.8%	1,900
その他*	9,360	7,944	8,484	6.8%	6,650	△21.6%	3,510
営業利益 (売上高比%)	11,649 (19.1)	7,625 (12.8)	9,609 (15.5)	26.0%	8,000 (13.1)	△16.7%	3,400 (11.3)
経常利益 (売上高比%)	12,908 (21.1)	9,884 (16.6)	10,691 (17.3)	8.2%	9,000 (14.8)	△15.8%	3,900 (12.9)
特別損益	△134	△114	△139	—	—	—	—
当期純利益 (売上高比%)	8,729 (14.3)	6,765 (11.3)	7,880 (12.7)	16.5%	6,600 (10.8)	△16.2%	2,900 (9.6)

販売費及び一般管理費	33,159	35,910	35,517	△1.1%	35,400	△0.3%	18,100
販売費	18,154	17,375	17,814	2.5%	19,600	10.0%	10,000
一般管理費	3,526	3,910	3,469	△11.3%	3,500	0.9%	1,800
研究開発費 (売上高比%)	11,478 (18.8)	14,623 (24.5)	14,233 (23.0)	△2.7%	12,300 (20.2)	△13.6%	6,300 (20.9)
減価償却費	2,027	2,072	2,208	6.6%	2,300	4.2%	1,120
設備投資額	2,039	1,783	1,863	4.5%	1,150	△38.3%	450
主要内容	生産設備等 680 その他 1,359	生産設備等 1,149 その他 634	生産設備等 843 その他 1,020		生産設備等 620 その他 530		生産設備等 120 その他 330
輸出高	7,740	7,239	7,209	△0.4%	6,170	△14.4%	2,940
期末従業員数(人)	1,534	1,528	1,536	8	—	—	—

※「その他」は、国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額です。

## II. 連結情報

### II-1. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	'14(H26)年 3月期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期
資 産	流動資産		100,894	97,361	100,051
	現金及び預金		31,266	27,241	25,666
	受取手形及び売掛金		23,711	23,675	24,966
	特定金銭信託及び有価証券		29,310	28,125	27,609
	棚卸資産		12,813	14,646	17,376
	繰延税金資産		2,354	2,018	2,038
	その他の流動資産		1,437	1,653	2,394
	固定資産		71,754	84,122	93,294
	有形固定資産		26,960	26,852	26,758
	無形固定資産		692	785	813
	投資その他の資産		44,102	56,484	65,722
	投資有価証券		41,669	54,382	62,300
	長期前払費用		584	490	1,690
	繰延税金資産		566	431	553
	その他の投資等		1,334	1,232	1,231
	貸倒引当金		△52	△52	△53
資産合計			172,649	181,484	193,345

現金及び預金	・利益による増加等がある一方で、契約一時金や販売権の支払いなどにより減少
受取手形及び売掛金	・医薬品事業で売掛金が増加、その他の事業で受取手形が増加
特定金銭信託及び有価証券	・時価評価による評価益の増加がある一方で、資金需要により減少
棚卸資産	・医薬品事業における製品・原材料の増加、その他の事業における未成工事支出金の減少
その他の流動資産	・医薬品事業における前払費用の増加
有形固定資産	・機械及び装置、工具・器具及び備品の増加の一方で、減価償却による減少
投資有価証券	・時価評価による含み益の増加他
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、ピートル新発売に伴う販売権を計上

(百万円)

項目		決算期	'14(H26)年 3月期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期
負 債	負債合計		29,828	30,764	35,220
	流動負債		17,879	18,934	19,608
	支払手形及び買掛金		5,390	6,045	5,829
	短期借入金		1,871	1,815	1,815
	未払法人税等		3,231	1,372	1,668
	その他の流動負債		7,386	9,701	10,294
	固定負債		11,948	11,829	15,612
	長期借入金		1,409	1,463	1,488
	退職給付に係る負債		5,796	2,279	6,013
	繰延税金負債		3,817	7,338	7,395
その他の固定負債		925	748	714	
純 資 産	純資産合計		142,821	150,720	158,125
	株主資本		130,844	127,585	133,644
	資本金		24,356	24,356	24,356
	資本剰余金		24,254	24,254	24,247
	利益剰余金		90,918	95,565	96,230
	自己株式		△8,684	△16,591	△11,189
	その他の包括利益累計額		11,745	22,855	24,214
	非支配株主持分		231	279	265
負債及び純資産合計			172,649	181,484	193,345

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における買掛金の減少
未払法人税等	・所得増に伴う増加
その他の流動負債	・その他の事業における未成工事受入金の増加
退職給付に係る負債	・割引率の低下に伴う退職給付債務の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
資本剰余金	・自己株式の消却によるその他資本剰余金の減少△7
利益剰余金	・期中配当金支払い△2,103、親会社株主に帰属する当期純利益+8,165、自己株式の消却△5,396
自己株式	・消却5,403による減少
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加、割引率の低下に伴う退職給付に係る調整累計額の減少

## Ⅱ-2. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期	前期比	'17(H29)年 3月期予想	前期比	うち上期
売上高		70,110	71,294	1.7%	71,000	△0.4%	35,000
キッセイ薬品		59,694	61,821	3.6%	61,000	△1.3%	30,200
医薬品		48,084	49,601	3.2%	50,510	1.8%	24,790
ヘルスケア食品		3,665	3,734	1.9%	3,840	2.8%	1,900
その他*		7,944	8,484	6.8%	6,650	△21.6%	3,510
その他の事業		10,416	9,472	△9.1%	10,000	5.6%	4,800
(売上高のうち輸出)		(7,256)	(7,231)	(△0.3%)	(6,190)	(△14.4%)	(2,950)
売上原価		24,065	23,579	△2.0%	25,000	6.0%	12,200
(原価率%)		(34.3)	(33.1)		(35.2)		(34.9)
売上総利益		46,045	47,714	3.6%	46,000	△3.6%	22,800
販売費及び一般管理費		37,710	37,439	△0.7%	37,400	△0.1%	19,200
(研究開発費)		(14,488)	(14,106)	(△2.6%)	(12,300)	(△12.8%)	(6,300)
営業利益		8,334	10,274	23.3%	8,600	△16.3%	3,600
営業外収益		2,292	1,194	△47.9%	1,100	△7.9%	550
受取利息及び配当金		892	990	10.9%			
その他の収益		1,399	204	△85.4%			
営業外費用		42	115	172.5%	100	△13.0%	50
支払利息		33	31	△6.7%			
その他の費用		8	84	849.4%			
経常利益		10,584	11,353	7.3%	9,600	△15.4%	4,100
特別利益		18	1	△93.5%	—	△100.0%	—
特別損失		137	217	58.7%	—	△100.0%	—
税金等調整前当期純利益		10,466	11,136	6.4%	9,600	△13.8%	4,100
法人税、住民税及び事業税		3,407	2,969	△12.9%	2,400	△19.2%	1,000
法人税等調整額		△130	△28	—	190	—	100
非支配株主に帰属する 当期純利益		23	30	32.2%	10	△66.7%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,165	8,165	14.0%	7,000	△14.3%	3,000

(包括利益) (18,327) (9,510) (△48.1%)

※「その他」は、国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額です。

売上高	<p>実績:          キッセイ薬品:3.6%増収          医薬品、ヘルスケア食品、その他売上がともに増加。医薬品ではベザトール、ウテメリンといった長期収載品が減少した一方、ユリーフ、グルベス、グルファスト、エポエチンアルファBS注が増加。また昨年11月新発売のピートルも寄与。その他売上は、技術料売上、国内販売提携先への供給額がともに増加。</p> <p>その他の事業:9.1%減収          情報サービス業が増収、物品販売業と建設請負業が減収。</p> <p>予想:          キッセイ薬品:1.3%減収          医薬品では、本年4月実施の薬価改定の影響などがあるものの、引き続きユリーフ、グルベス、ピートル、エポエチンアルファBS注の育成を図り、増収の見込み。          ヘルスケア食品は増加、その他売上は技術料売上の減少などにより減少。</p> <p>その他の事業:5.6%増収          情報サービス業、物品販売業、建設請負業ともに増収の見込み。</p>
売上原価	<p>実績:売上原価率は1.2%低下          キッセイ薬品の売上原価率は売上構成の変動などにより0.1%低下。その他の事業の売上原価率も低下。</p> <p>予想:売上原価率は2.1%上昇          キッセイ薬品の売上原価率は1.9%上昇を見込む。薬価改定の影響、技術料売上の減少などによる。その他の事業でも事業構成の変動により1.3%の上昇を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績:前期比0.7%減少          販売費が増加した一方で、一般管理費と研究開発費が減少。研究開発費は、研究開発費の資産（前払費用）化により減少。</p> <p>予想:前期比0.1%減少          キッセイ薬品において販売費で増額、研究開発費で減額の見通し。</p>
営業外損益	<p>実績:有価証券評価益の減少に加え、為替差損を計上。</p> <p>予想:特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績:固定資産売却益と処分損、減損損失などを計上。</p> <p>予想:特別なものは見込んでいない。</p>

## Ⅱ-3. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,667	5,763	△904
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,168	△5,685	△2,516
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,081	△2,146	7,935
現金及び現金同等物に係る換算差額		460	20	△439
現金及び現金同等物の増減額		△6,122	△2,047	4,075
現金及び現金同等物の期首残高		58,265	52,142	△6,122
現金及び現金同等物の期末残高		52,142	50,094	△2,047

主な増減要因（前期比）

### 1. 営業活動によるキャッシュ・フロー：減少

税金等調整前当期純利益の増加や法人税等の支払額の減少などの資金の増加要因がありましたが、売上債権の増加やその他の流動負債の減少などにより、前期比減となりました。

### 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー：減少（支出増）

長期前払費用の取得、投資有価証券の取得が増加したことなどにより、支出増となりました。

### 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー：増加（支出減）

自己株式の取得が減少したことなどにより、支出減となりました。

## Ⅱ-4. 配当の推移

(円)

項目	決算期	'14(H26)年 3月期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期	'17(H29)年 3月期予想
中間配当		20	21	22	23
年間配当		40	42	44	46

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	—	7,904	—	—
(取得株式数)	—	(2,541千株)	—	—
自己株式の消却	—	—	5,403	—
(消却株式数)	—	—	(2,600千株)	—

### Ⅲ. キッセイ薬品単体情報

#### Ⅲ-1. 損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期	前期比	'17(H29)年 3月期予想	前期比	うち上期
売上高		59,694	61,821	3.6%	61,000	△1.3%	30,200
医薬品		48,084	49,601	3.2%	50,510	1.8%	24,790
ヘルスケア食品		3,665	3,734	1.9%	3,840	2.8%	1,900
その他*		7,944	8,484	6.8%	6,650	△21.6%	3,510
(売上高のうち輸出)		(7,239)	(7,209)	(△0.4%)	(6,170)	(△14.4%)	(2,940)
売上原価		16,158	16,694	3.3%	17,600	5.4%	8,700
(原価率%)		(27.1)	(27.0)		(28.9)		(28.8)
売上総利益		43,535	45,127	3.7%	43,400	△3.8%	21,500
販売費及び一般管理費		35,910	35,517	△1.1%	35,400	△0.3%	18,100
販売費		17,375	17,814	2.5%	19,600	10.0%	10,000
一般管理費		3,910	3,469	△11.3%	3,500	0.9%	1,800
研究開発費		14,623	14,233	△2.7%	12,300	△13.6%	6,300
営業利益		7,625	9,609	26.0%	8,000	△16.7%	3,400
営業外収益		2,390	1,264	△47.1%	1,100	△13.0%	600
受取利息及び配当金		887	982	10.8%			
その他の収益		1,502	281	△81.3%			
営業外費用		131	182	38.4%	100	△45.1%	100
支払利息		22	20	△7.6%			
その他の費用		109	161	47.7%			
経常利益		9,884	10,691	8.2%	9,000	△15.8%	3,900
特別利益		11	1	△90.5%	—	△100.0%	—
特別損失		125	140	12.0%	—	△100.0%	—
税引前当期純利益		9,770	10,552	8.0%	9,000	△14.7%	3,900
法人税、住民税及び事業税		3,187	2,736	△14.2%	2,200	△19.6%	900
法人税等調整額		△183	△63	—	200	—	100
当期純利益		6,765	7,880	16.5%	6,600	△16.2%	2,900

※「その他」は、国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額です。



## Ⅲ-2. 主要医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 '14(H26)年 3月期	'15(H27)年 3月期	'16(H28)年 3月期	前期比	'17(H29)年 3月期予想	前期比	うち上期
排尿障害改善薬 ユリーフ	13,331	14,087	15,473	9.8%	15,800	2.1%	7,730
糖尿病治療薬 グルファスト	3,410	3,404	3,623	6.4%	3,150	△13.1%	1,750
糖尿病治療薬 グルベス	2,551	3,309	3,925	18.6%	4,500	14.6%	2,150
高リン血症治療薬 ピートル	—	—	626	—	3,500	459.1%	1,500
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,266	1,270	1,456	14.6%	1,620	11.3%	800
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	5,595	5,714	6,049	5.9%	5,400	△10.7%	2,670
高脂血症治療薬 ベザトール	5,543	4,374	3,817	△12.7%	3,000	△21.4%	1,570
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	3,909	3,291	2,866	△12.9%	2,340	△18.4%	1,220
脳循環改善薬 キサンボン	1,074	816	728	△10.8%	540	△25.8%	280
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	1,526	1,546	1,339	△13.4%	1,200	△10.4%	500
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	1,444	1,261	1,135	△10.0%	1,000	△11.9%	510
気管支喘息治療薬 ドメナン	197	158	146	△7.7%	130	△11.0%	70
血液凝固阻止剤 フラグミン	418	328	266	△18.7%	210	△21.1%	110
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	796	691	730	5.5%	600	△17.8%	300
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	659	618	628	1.5%	660	5.1%	330

### Ⅲ-3. 新薬開発状況（自社）

（平成28年5月現在）

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認取得	グルファスト <sup>®</sup> ／ ミチグリニド	創製品	2型糖尿病	速効・短時間型イン スリン分泌促進作用	剤形追加 (OD錠)
第Ⅲ相	ロバチレリン／ KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン 放出ホルモン (TRH) 作用	
	カロテグラスト メチル／ AJM300	導入品／EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害 作用	
	ブデソニド／ AJG511	導入品／EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	局所作用型ステロイド	注腸フォーム 製剤
	オザグレル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬 共同開発	シェーグレン症候群 に伴うドライアイ	角結膜上皮障害修復 作用	
	ビベグロン／ KRP-114V	導入品／杏林製薬 共同開発	過活動膀胱	β3受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、 子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
第Ⅰ／Ⅱ相 準備中	YS110	導入品／ワイズ・ イー・シー、東京 大学、日本医療研究 開発機構 (AMED)	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノク ローナル抗体	
第Ⅰ相	JR-131	導入品／JCRファーマ 共同開発	腎性貧血	赤血球増加作用	ダルベポエチ ンアルファ バイオ後続品
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激 作用	

※ 前回公表時（平成28年2月）からの変更点：①グルファスト（剤形追加）…承認申請中→承認取得、  
②ビベグロン…第Ⅲ相（新規掲載）、③KDT-3594…第Ⅰ相（新規掲載）、④KWA-0711…第Ⅱ相→開発中止により削除

### Ⅲ-4. 新薬開発状況（導出）

（平成28年5月現在）

開発段階	一般名	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ（日本）	アセアン <sup>※1</sup>	2型糖尿病	速効・短時間 型インスリン 分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、 スリランカ <sup>※2</sup>	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	α1A受容体 拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、 切迫早産	β2受容体 刺激作用
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体 刺激作用

※ 前回公表時（平成28年2月）からの変更点：なし

※1：発売：タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、申請中：2カ国

※2：発売：タイ、インド、インドネシア、フィリピン、承認：ミャンマー、申請中：アセアン4カ国